

神奈川県小田原市（平成26年9月30日作成）

- 小田原駅、鴨宮駅、国府津駅周辺を集約拠点地域として位置付け、都市機能を集約するとともに、その他の鉄道駅周辺への居住機能と生活サポート機能の集積を誘導。そのほか、公共交通の結節機能強化や循環バスの導入、大規模集客施設や工場等の集積地での熱の共同利用、街なかでのみどりの創出などにより総合的に低炭素化を推進する計画。

■低炭素都市づくりの将来像

「小田原らしさ」を生かしたコンパクトで持続可能な低炭素都市

都市構造分野（鉄道軸を生かした拠点集約型の都市づくり）

- 小田原駅、鴨宮駅、国府津駅の周辺市街地への都市機能集約
- その他の鉄道駅周辺への居住機能と生活サポート機能の集積を誘導
- 長期的には、駅勢圏外の市街地及び市街化調整区域の居住地については地域の状況も踏まえ、段階的に集約しつつ、再編について検討

交通分野（環境に優しい交通手段で誰もが「おでかけ」できる都市づくり）

- 鉄道とバス、バスとバスの結節機能強化
- 駅と病院・大規模商業施設を結ぶバスや循環バスの導入
- 道路整備による道路交通円滑化

エネルギー分野（地域で創るエネルギーを生かした都市づくり）

- 大規模集客施設や工場等の集積地での熱の共同利用
- 省エネ住宅の推進

みどり分野（地域の力でみどりを守り、生み出す都市づくり）

- 街なかでのみどりの創出
- 街なかでの親水空間の創出

■計画の目標

中期目標（2020年）：1990年の水準まで削減

長期目標（2050年）：

運輸部門：1990年比10.8%～14.3%の削減

民生部門：1990年比45.4%～60.5%の削減

■計画区域と主な施策

